

よい先生の条件を考える

ー信頼関係のつくり方ー

開倫塾

塾長 林 明夫

1. こんにちは。開倫塾の塾長の林明夫です。
今日も開倫塾の時間を聞いて頂いて有り難うございます。
2. 開倫塾は学習塾で、塾生の皆様に一所懸命勉強して頂くところです。塾の先生の中でも非常に人気のある先生もいらっしゃいますし、時々そうではない先生もいらっしゃいます。いろいろな塾の先生と話してみまして、「どういう先生に教わっていると塾生さんがやめてしまうか」ということを、先日全国の学習塾の先生方と黒磯市の板室温泉の大黒屋というところに2泊して、大デスカッションをしました。埼玉県の先生がおもしろいことをいっていました。塾ですから一所懸命教えていますが、とにかく黒板に向かって素晴らしい説明をいくらしても、塾生の方に向かって「にこっ」とできない、「アイコンタクト」できない、「しかめっ面」をしてしまう先生は最終的に塾生を惹きつけられなくて、塾生がおやめになってしまう場合が多いそうです。
3. その塾でも、私どもの学習塾でも同じように、やめた方に対して「どのような理由でやめましたか」という調査をさせてもらって、いろいろ調査をされています。これは開倫塾が始めてからどんどん他の塾でもするようになってきました。その塾では塾生がやめてしまう先生の共通の要素を分析したそうです。説明がへたと塾の先生はつとまりませんから、多少は説明はうまいとは思いますが、説明した後、塾生の方を見たときに「目と目が合わない」とか、「目をそらしてしまう」とか、「にこっ」とほほえむことが不得意な先生は塾生がいなくなってしまうことが多いと聞きました。塾の先生も大変だなと思いました。
4. 「親身になる先生はどんな先生か」ということも話題になりました。学習塾では普通塾生と週に1～2回、1回について2時間くらい勉強します。そのとき、毎回塾生がどんなことを発言したかということを、こまめにノートをつけて、あとでじっと眺めている。そうするとその塾生がどんなことを考え感じているかということが少しずつ分かってくる。塾生の心をよく理解する先生が塾生の心をよくつかんで、すばらしい先生ではないのかという話でした。
5. ノートについても話題になりました。開倫塾でもノート指導はよくやっています。塾生がノートを一所懸命とったものを時々提出してもらって、それにはげましの言葉などを丁寧に書いてあげる先生が非常に塾生からの信頼が厚いようです。

6. いい先生の条件とは、やはり、学習塾ですから、教え方はもちろんうまくて、なおかつ、塾生にできるだけ親しみをもってもらうために「にこっ」と笑ったり、「アイコンタクト」をしたり、「余裕」があるということですね。塾生の発言を得るだけ正確にメモをして、毎日眺めては、塾生がどんな性格なのかをよく理解して塾生に接する。塾生が努力して記入したノートを時々見て、励ましの言葉を書いてあげる。
7. そのような形で一对一の信頼関係が気づけた場合に「いい先生」と塾生がみている場合が多い。塾ですから、ちょっと下手なことをやると塾生はやめてしまいます。信頼関係を具体的形で築くことができる先生方には、塾生はずっとついていっていっしょに勉強してみたいということで、やめる塾生も少ないようです。塾の経営者の話し合いだったので、そのような信頼関係の高い学習塾をつくらねばと話をしました。大変勉強になりました。
8. ところで板室温泉はすばらしい温泉で、いい旅館が沢山あります。皆さんも是非行っていただければと思います。そういうところでゆっくり同業者の方と、塾でしたらどのような先生がよい塾講師なのか等を話し合ったらおもしろいと思います。栃木県は鬼怒川からはじまって川治、那須、湯西川などにたくさんいい温泉があります。ですから、皆さん海外旅行にいかれるのもすばらしいと思いますが、お近くの栃木内の温泉に1～2泊して頂いて、紅葉を見ながらじっくり体をやすめるのも今非常にいいと思いますので是非お勧めします。あと温泉でいいのは馬頭温泉はつるつるして非常にすばらしいですね。佐野の赤見温泉、喜連川温泉も素晴らしい。栃木県には各市町村に1カ所は素晴らしい温泉があるたぐいまれな県です。お隣の群馬県や福島県もたくさんよい温泉があります。皆さんも近くの温泉にいていただければと思います。
9. あと秋が深まってきましたので、読書の話 最後にさせていただきます。是非「ハードカバー」の本をたくさん読んで頂きたいと思います。子供がなかなか読書をしないで困っているという話を聞きます。いいにくい話ですがお父さん、お母さんが子供の前で「パフォーマンス」をする必要はないのですが、自分で好きな本を子供さんといっしょに読むことです。子供は読まなくてもご自分の好きな本をお読みになって頂くと子供も自然に本を読むようになっていきます。時々、「この本をお父さん（お母さん）は読んだけど、このところがおもしろかった」とか、大人同士でも話し合っ頂ければ、子供も「そんな世界があるのだな」と「知的な雰囲気」に浸れます。そのような「知的な雰囲気」に浸れるようなことをすることも、保護者の方のひとつの役割かなと思います。子供に本を読ませたかったら、是非お父さん、お母さんがご自分で本を読む、子供に新聞を読ませたかったら、ご両親がご自身で、一面からゆっくり新聞を読んでいただいて、今こんなことで北朝鮮と日本はこんな関係なんだとか。アメリカ、ソビエト、中国はどんな役割をしているとか、そんなことを話して頂ければ国際関係の勉強になります。子供も自ずと新聞を読むようになります。是非、お試し頂ければと思います。
10. 車を運転している方はくれぐれも前の車に追突しないように、車間距離を十分はなして運転して下さい。どんな事故が前に起こっても、車間距離さえ離しておけば巻き込まれることもないし、後続の車を巻き込むこともありません。